

そう だい
総 題 「ヨシュア記に学ぶ」

だい か うち てき じゅういちがつよう か
第6課 内なる敵（11月8日）

いけます ます お
池増 益男

いち あんそくにち ご ご
1. 安息日午後

あんしよせい く
[暗唱聖句]

こころ さぐ きわ しゆ みち わざ むす み したが
心を探り、そのはらわたを究めるのは/主なるわたしである。それぞれの道、業の結ぶ実に従っ
て報いる。(エレミヤ17:10、新共同訳)

こんしゅう き だいななしょう はっしょう まな たみ まち こうげき
今週は、ヨシュア記第7章と8章から学びます。イスラエルの民はアイの町を攻撃すること
になりましたが、大きな問題にぶつかりました。それはアイの町が丈夫な厚い塙で囲まれていた
からではありません。また敵軍(アイの軍隊)の作戦(戦いのしかた)がイスラエルよりも優れ
ていたからでもありませんでした。その大きな問題はイスラエルの民の中に隠されていた罪だった
のです。

に にちよう び けいやく い はん
2. 日曜日：契約違反

まず、ヨシュア記7章を読んでください。

イスラエルがアイの住民に負けてしまった二つの大きな原因は何だったのでしょうか？

① アカンの罪(食欲の罪) ※食欲=欲深いこと



アイの前にエリコの町を滅ぼした時、神様はイスラエルの民に言っておら
れました。

「金、銀、銅器、鉄器はすべて主にささげる聖なるものであるから、主の宝物
倉に納めよ。」(ヨシュア記6:19 新共同訳)

しかし、アカンはその一部を盗み、自分のテントの中に隠していたのです(ヨシュア記7:
21)。

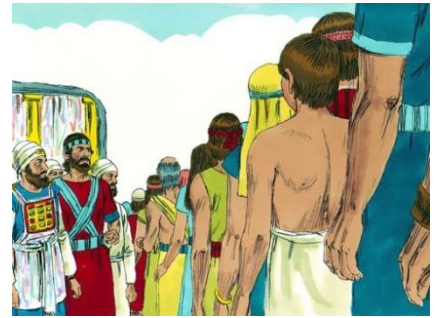
●なぜアカンの罪がイスラエル全体の敗北につながったのでしょうか。それは個人とイスラエルの
民全体は一つの体として結ばれていたからです。お互いに影響し合う関係でした。

② イスラエルの民は、アイの町はエリコよりも小さいから3000人で攻め落とせると考えて神様

に相談しようとしませんでした。自分たちの力と判断に信頼したのです。

3. 月曜日：アカンの罪

神様はアカンの罪を明らかにするためにどんな方法をとられましたか。



ヨシュア記 16～19 節を読んでください。

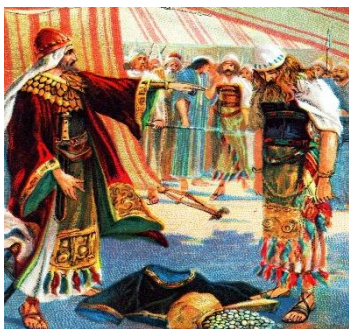
- ① イスラエルを部族ごとに進み出させる
- ② ユダ部族がくじに当たる
- ③ 氏族ごとに進み出される（ゼラの氏族にくじが当たる）
- ④ 家族ごとに進み出させる
- ⑤ 男一人一人が進み出る（アカンがくじに当たる）

神様はこの方法を通して、犯罪者（アカン）だけでなく、罪のない人も明らかにされました。これが公正な裁判だったのです。またヨシュアがアカンに「わたしの子よ」と呼びかけたのは、この裁判は憎しみではなく、憐れみをもって行われたことがわかります。それは神様が私たちの心の中の罪や行いを裁かれるときの神様の心の愛と優しさをも表しています。

4. 火曜日：運命を決める選択

ヨシュア記 7：19～21 を読んでください。

アカンの罪の告白は、ちょっと見たところでは悔い改めの告白のように見えますが、そうではなく、罪の言い訳だったのです。アカンは美しい衣、金や銀を欲しが
る罪はまだ心から消えていなかったのです。もし彼が心から罪を悔
いていたら、もっと早く、イスラエルがアイに敗北した時、そのあと
厳粛な調査が始まった時に、「わたしが罪を犯しました」と進み出て
罪を告白していたのではないのでしょうか。ですからアカンの最後の
告白は、悔い改めではなく、後悔だったのです。



私たちも聖霊が罪を示してくださるとき、悔い改めを延ばさないようにしましょう。

5. 水曜日：希望の門

ヨシュア記 8：1～29 を読んでください。

アカンの罪が裁かれ、ヨシュアや民が自分の力や判断に頼ることをやめて、熱心に神に祈り、神に頼ったとき、神はどう戦ったら良いかを教えてくださり、アイに勝利することができました。

「あなたたちの神、主は町をあなたたちの手に渡してくださる。」とあるように、神ご自身がイスラエルの過去の失敗を勝利に変えてくださったのです。こうして「苦悩、災いの谷」と呼ばれた「アコルの谷」(ヨシュア記7:26)は「希望の門」(ホセア2:1[口語訳])に変わったのです。

私たちの失敗を勝利に変えてくださる神に感謝し、神をほめたたえましょう。

6. 木曜日：神の力の証人

ヨシュア記7:6～9を読んでください。

イスラエルの3000人がアイに攻め上ったとき、数十名が敵に殺され、全員がアイの人々の前から逃げ出しました。これを聞いたヨシュアは衣服を裂いて神様の前にひれ伏して言いました。

「ああ、わが神、主よ。なぜ、あなたはこの民にヨルダン川を渡らせたのですか。わたしたちをアモリ人の手に渡して滅ぼすおつもりだったのですか。・・・主よ、イスラエルが敵に背を向けて逃げ帰った今となって、わたしは何と言えがいいのでしょうか。カナン人やこの土地の住民は、このことを聞いたなら、わたしたちを攻め囲んで皆殺しにし、わたしたちの名を地から断ってしまうでしょう。」(ヨシュア記7:7～9 上句)

ここで終わっていたら、これまで何度も不平をつぶやくイスラエルの民と一緒にです。しかしヨシュアはここで終わりません。



「あなたは、御自分の偉大な御名のゆえに、何をしてく下さるのですか」と神に訴えました。神の偉大な御名、神の栄光のために立ち上がってくださいと神に訴えたのです。こうして神は勝利のために何をすべきかをヨシュアに教えられたのです。

私たちもどうにもならない状況に立たされた時に、ヨシュアのように神の栄光のために「何をしてく下さるのですか」と祈りましょう。そして神の力の証人になっていただきましょう。

7. 金曜日：さらなる研究

ホワイト夫人の『人類のあけぼの』(45章)の文章を読んでアカンの告白が、本当の悔い改めの告白か、後悔・言い訳かを考えましょう。

●話し合いのための質問

① アカンが罪を犯した十戒の第十条(出20:17)の意味について話し合ってみましょう。

私たちの周りには誘惑となるようなものがたくさんあります。欲しいものと必要なものとをどのように区別したら良いかを考えてみましょう。